

話題 街に ひろう

池辺市長

3期目スタート

9月25日に行われた牛久市長選挙で再選を果たした池辺勝幸市長が、10月3日に初登庁し、市民や市職員などの出迎えを受けました。

牛久市長選挙結果 (投票率48.69%)

候補者名	得票数
池辺 勝幸	15,352
塚本 忍	13,571
大谷 雅彦	2,849

※敬称略

→市職員から花束を受け取る池辺勝幸市長(写真左)



このたび、市民の皆様のご支持と厳粛な負託を賜り、再び市政の舵取り役を担わせていただくことになりました。

これまで2期8年で掲げてまいりました「子育て」、「ボランティア」、「安全・安心」、「情報共有化」、「健康」の5つの日本一実現に向けた取り組みを引き続き推進するとともに、今後は、人が自然や食とつながりをもってゆったりと暮らすまちを目指した「スローシティ」の考え方を基本理念に据えたまちづくりを展開していきたくと考えております。

長引く不況や少子超高齢社会の到来により、市民生活や行政を取り巻く状況が厳しさを増すなかで、市民の皆様が安心して生活できる環境の創出と支援が行政運営の基本にあると考えております。

今後とも、市民目線による行政運営を肝に銘じ、更なる改革を進めてまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

牛久市長 池辺勝幸

根古屋川に

うなぎ稚魚放流

10月15日、「牛久沼うなぎ放流・自然観察会と歴史探索の集い」が行われました。このイベントは環境、自然、水質浄化への気持ちを育むことを目的に、市と牛久沼漁業協同組合、NPO法人うしく里山の会、牛久市家庭排水浄化推進協議会が連携して実施したものです。

参加した市内の小学生とその保護者14組34人は、恐る恐るバケツの中うなぎに触れ、「大きくなって戻ってきてね!」と声を掛けて放流しました。根古屋川でうなぎを放流した後、一行は小雨の降る中、牛久城などの史跡散策と自然観察を行いました。



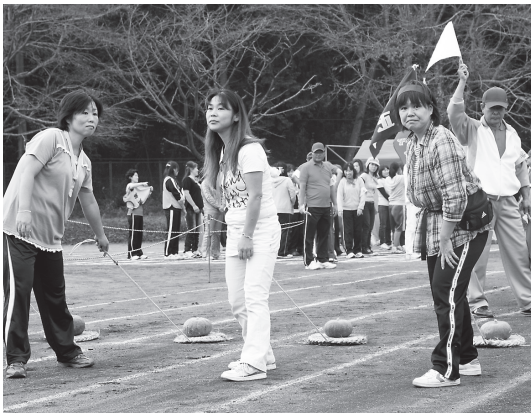
うなぎの稚魚を放す子どもたち

ご近所と運動で交流

10月9日、牛久・岡田・奥野各地区で市民体育祭が行われました。秋晴れの下、奥野運動広場で行われた奥野地区の体育祭には12行政区と小中学生が参加。

行政区対抗の「かぼちゃ引きりレー」では、6人1組が男女別チームとなり、俵ポッチに大きなかぼちゃを乗せて元気に疾走。バトン代わりの丸いかぼちゃに悪戦苦闘しながら、参加者はバランスとスピードを競いました。

岡田地区の「であい・ふれあい」や牛久地区の「カード合わせ」では、見ず知らず同士が触れ合えるような種目が用意され、皆さんの顔には自然



和気あいの「かぼちゃ引きりレー」(奥野地区)

各地区で「市民体育祭」開催

と笑顔がこぼれていました。参加者は健康増進を図りながら、隣近所の住民同士との親睦も深めて楽しい1日になりました。



二人三脚で「カード合わせ」(牛久地区)



フラフープを使った「であい・ふれあい」(岡田地区)

ショッピングモールで

「牛久」をアピール

9月19日、つくば市にある『LALAガーデンつくば』で牛久市観光物産フェアが開催されました。

屋外プラザ広場に設置された観光物産展では、朝採り新鮮野菜の販売や落花生など市内の名産品の販売を行うコーナーが設置され、牛久の農産物などをアピールしました。

また、併設されたステージでは、市内外で活躍している牛久市民吹奏楽団や東洋大学附属牛久高等学校ダンス部、牛久かつば太鼓などの団体による発表も行われ、多くの買い物客に「牛久」の熱いパフォーマンスを届けました。



ステージ上では牛久かつば太鼓の披露



130kgものごみを拾い集めました

2000人が参加して 市内の清掃活動

10月9日、約2000人が参加してクリーン作戦「ライオンズ奉仕デー」が実施されました。牛久荃崎ライオンズクラブ主催のこの活動には、市内外のボイスカウトやガールスカウト、剣友会、ひたち野うしく小学校育成会の約2000人が参加。

市中央生涯学習センターを出発した二行は、歩道脇を中心に「ごみを拾い、環境美化運動に汗を流しました。牛久第2団ボーイ隊の高野耕太郎さん(小学5年生)は「僕たちがごみ拾いをして牛久のまちをきれいにしたいです」と話し、空き缶やたばこの吸い殻などを一生懸命ごみ袋に入れました。

今年も盛況！健康まつりinうしく

10月16日、市保健センターで「第6回健康まつりinうしく」が開催されました。今年は「受けよう健診！」自分のからだを知ろうく」をテーマに、骨密度測定や血糖値検査、健康をテーマにした講演会などが行われました。また、毎年恒例の「健康ポスター」、健康標語、健康川柳コンテスト」のほかに、市の特定健診で3年連続異常なしの「健康の達人」の表彰式も行われました。

「あなたの味覚コーナー」では、利きだしやだしの利いた料理の試食が行われ、利きだしを体験した参加者は「市販のだしと比べると、

素材から取っただしの方がおいしそうですね」と驚いた様子で話していました。来場者たちは、会場に設けられたさまざまな健康コーナーを体験しながら、健康や健診の大切さを再認識しました。



会場には、市健診イメージキャラクターの「メタ坊くん」(写真右)も登場



コンテスト受賞者と「健康の達人」の皆さん

淀川教育長が地方教育行政功労者表彰を受賞

この度、牛

久市教育委員会教育長の淀川ゆき氏が、平成23年度地方教育行政功労者表彰を受賞し、10月14日に文部科学省講堂で表彰式が行われました。



地方教育行政功労者表彰とは、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員または教育長について、文部科学大臣が表彰するものです。今年度は茨城県から4人が表彰されました。



学び合いの授業を見学する視察団

インドネシアの教育関係者が下根中学校を視察

10月12日、インドネシアの国家教育省や現場の先生方が日本の教育を学ぼうと、下根中学校を視察しました。

視察団は、同校の生徒同士の「学び合い」の授業を見学し、「学び」を中心とした学校づくりや、一斉授業の改革、学力向上などについて熱心に質問をしていました。

また、同視察団は、13日に淀川ゆき教育長を訪問し、市が行う「学びの共同体」を取り入れた教育や教育全般についての意見交換を行いました。視察団の一人は、「勉強に対して、とてもやる気のある牛久市の子どもたちに驚きました。視察した経験を本国での教育に生かしたい」と話していました。

「命」について講演

10月4日、市中央生涯学習センターで「平成23年度牛久市家庭教育学級合同研修会」が開催されました。当日は、「子どものよりよい成長へ、親はどう関わるか」を共通テーマに「分散会」が開かれ、関係者が家庭教育のあり方を話し合いました。

また、講演会「いのちそれは 奇跡・君は愛されるため生まれた。」では、龍ヶ崎市の産婦人科医・陳央仁先生(龍ヶ崎済生会病院)が命をテーマに、生き方と性教育について講演しました。以前に比べて、性に関する情報や体験を得ることが容易になり、望まない妊娠や病気になる危険が子どもたちに広がっていることから、親子の信頼関係を築くこと、親が普段から子どもにも「命のこと、生きるということ、友達を大切にすること」などを伝えることが大切だと話しました。



講演する陳先生



野口副市長(中央)と牛久市障害者連合会の皆さん

市へ要望書を提出

9月16日、牛久市障害者連合会の皆さんの皆さんが、市に要望書を提出しました。同会は、8つの障害者団体で構成され、さまざまな障がいを持つ障がい児・者本人とその家族が会員となっています。代表の一人、桜井勝利さんは「私たちは、多くの人に障がいについて知ってもらえるよう、お茶飲み交流会や小学校への訪問を行っています。皆が安心して暮らせる地域社会を実現してもらいたい」と野口憲副市長に要望書を渡しました。

テレビ共同受信組合 長へ感謝状を贈呈

9月5日、テレビ共同受信組合の組合長5人に対し、感謝状贈呈式を行いました。

テレビ共同受信組合は、昭和62年に建設された牛久駅西口再開発ビル(エスカード)に起因する電波障害の対策として、約1800世帯を対象としたアナログ放送テレビの共同受信施設を5つのブロックに分け、維持管理・運営を行ってきました。今年7月にアナログテレビ放送が終了し、共同受信施設もその役割を終え、各組合も今年度で解散となります。

池辺勝幸市長は「23年間のご苦勞に感謝いたします。組合解散後も施設の撤去完了までご協力いただきました」とあいさつを述べ、組合長一人ひとりに感謝状を手渡しました。

テレビ共同受信組合 感謝状贈呈



テレビ共同受信組合感謝状贈呈式

牛久市スポーツ少年 団が全国表彰受ける

9月3日、茨城県スポーツ少年団指導者研修会で、牛久市スポーツ少年団が、これまでのスポーツ少年団活動をたたえられ、日本スポーツ少年団から表彰盾を授与されました。

牛久市スポーツ少年団の本部長・宮下英彌さんは「団の先輩、地域の皆さん、そして行政の力添えの賜物と感謝しています。これからも指導者一同あらためて初心に帰り、青少年育成、子どもたちの体力向上に向けて一層の努力をしていきます」と話しました。

また、同団の副本部長・小島五男さんは、個人表彰を受賞しました。



表彰盾を受け取った小島さんと宮下さん(左から)

第6回茨城県スポーツ 吹矢大会入賞者紹介

9月14日、石岡市運動公園体育館で「第6回茨城県スポーツ吹矢大会」が開催されました。

20歳代から80歳代までの男女約700人が初級、中級、上級の各クラスに分かれ熱戦を繰り広げました。中級クラスでは、「牛久奥野支部」の齋藤輝夫さんが247人中、見事準優勝を獲得。「牛久中央支部」の橋本典子さんが6位。

また、初級クラスでは、「牛久かつばの里支部」の美馬功さんが182人中、3位に。宮崎早苗さんが8位に入賞しました。二人ともスポーツ吹矢を始めて半年余りでのまさな快挙となりました。



中級クラスで準優勝した齋藤さん



初級クラスに出場した宮崎さんと美馬さん(左から)

第2回関東牛久マレットゴルフ交流大会

8月21日、市総合福祉センターマレットゴルフ場で、茨城県古河市、埼玉県川越市、東京都江東区など、県内・県外近隣団体が参加し、「第2回関東牛久マレットゴルフ交流大会」が開催されました。

当日はあいにくの悪天候でしたが、選手137人が最後までプレーし、市内の「牛久マレットゴルフ友の会」が好成績を収めました。

順位	男子の部	女子の部
優勝	小松 喜一郎 (牛久)	村崎 フク子 (牛久)
準優勝	石橋 義孝 (総和)	三上 節子 (牛久)

(敬称略)

「牛久マレットゴルフ友の会」では、健康・体力づくり・コミュニティーづくりを目的に生涯スポーツとして毎日楽しく活動しています。興味のある方は、ぜひ一度体験しに来てください。

問い合わせ 小西 ☎872-1251

岡田地区スポーツ交流会がチャリティー募金を寄付

9月5日、岡田地区スポーツ交流会(田中隆之会長)が主催で「ゴルフ大会」が開催され、183人が参加。日ごろの練習の成果を発揮しつつ、参加者は健康づくりと交流を深めました。

終了後に開かれたパーティーでは、同会が「東北地方復興支援・がんばろう茨城チャリティー募金」を行い、参加者の皆さんから募金していただいた2万1876円を、(社)牛久市社会福祉協議会へ全額寄付しました。

当会では、10月に市民体育祭とバスハイクを実施するなど、地域住民の生涯健康と親睦を目指し、各種の年間行事を計画しています。



田中会長から募金箱を受け取る池辺市長

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1 「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

ちょっと
休憩
ぶれいく

皆さんの
お便りから



南・犬塚さん

短歌・俳句・山柳コーナー

電車内バツタ乗り込む秋の朝

南 村山さん

月も照り虫の音賑し夕餉どき

田宮 岡村さん

敬老会早く終って帰ろうかい

さくら台 二国さん

草取りの手を休めれば香ぐわしき

山百合の花清涼剤に

正直町 唯根さん

揚羽蝶そよ風に乗り舞い降りて

百日草えらみ夢中に蜜吸う

岡見町 小池さん

空高く秋の近づく涼しき日

いつもの場所に萩を探しぬ

南 瀬山さん

ゆるやかに流るる川面蜻蛉舞う

時折水面触れつ離れつ

桂町 木村さん

ゴム跳びは背よりも高く跳びにけり

今は布団に躓き転ぶ

岡見町 根本良子さん